

和歌山県小学生バレーボール連盟

会長 南方 嘉門

令和元年度 理事会 議事録

1、成立宣言

全役員 20 名中、14 名出席により成立。

地方連盟理事 8 名中 1 名は代理人出席、1 名は会長に委任、1 名は欠席。

会計監査 1 名欠席、競技委員長ならびに審判委員長は、日小連部会に出席のため、競技委員長は副競技委員長に審判委員長は総務委員長にそれぞれ代理届けを提出。

2、会長開会挨拶

南方 会長より挨拶。

3、議長選出

県小連規約、第六章、第 15 条、2. により 会長を議長に選出。

4、平成 30 年度事業報告

競技部・審判部・指導普及部より報告。

5、平成 30 年度会計報告

会計より報告

6、会計監査報告

会計監査より報告。

質疑応答

なし。

議長より平成 30 年度事業報告・平成 30 年度会計報告について承認確認。

異議なしより承認。

7、役員改選（総務部）

令和元年・2 年度役員の承認確認

異議なしより承認

8、令和元年度事業計画（案）

競技部・審判部・指導普及部より提案。

9、令和元年度予算（案）

会計より提案。

質疑応答

なし。

議長より平成 30 年度事業報告・平成 30 年度会計報告について承認確認。

異議なしより承認。

10、議長退任

11、日小連評議委員会報告

副理事長（指導普及委員長）より報告。

1) 指導者資格について説明

質疑応答他

- 1) 日小連の新指導者講習・旧講習該受講者の移行方法を聞いたが、それよりも、和歌山県バレーボール協会が現在募集している、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員資格取得講習会を受講する方が、有利に思われる。
- 2) 全日本バレーボール小学生大会の大会要綱も未だ示されていないので、ベンチ入りの資格要件も不明である。要綱が示されれば、地方理事にお知らせする。
- 3) 12月22日の第40回近畿小学生バレーボール選手権大会は、和歌山県での開催となるため、審判・スタッフ等の派遣要請が考えられる。その際にはご協力をお願いします。
- 4) 地方連盟対抗6年生交流大会は、指導普及の事業となっているが、競技部の事業計画に組み入れることも視野に入れたい。
- 5) 県大会では、トロフィーの返還を行い、レプリカとしてボール渡しているが、ボール代が高騰しているため、取り切り方式に変更する。
- 6) 総務より確認)
 - ・ 昨年の懸案事項であった県小連の登録費の見直しについて各地方の意見を聞きたい。
 - ・ 各地方とも検討を行っていない。
 - ・ 昨年の夏季大会の際には、使用チームからの負担と県小連の負担により空調を使用した。が、県小連から負担していると、会計が逼迫してくることは間違いない。
 - ・ 本件については、総務と会計で予測を立て、検討材料としてお知らせする。
- 7) 質問)
 - ・ 本年度の県小連登録費について教えて頂きたい。
 - ・ 例年同様、4,000円とします。

12、その他

1) 日高地方より検討依頼

- ・あるチームより、『バレーボール教室を開催しているが、地方を越えて教室に来ており、入部もしている。スポーツ少年団の大会には出場できるが、県小連の大会には地方を越えての出場は禁止されている。なんとか参加できないか』との依頼に、日高地方として検討したが、答えは出なかった。この場で、検討して頂きたい。
 - ・スポーツ少年団の大会に出場でき、県小連の大会に参加できないのもかわいそうなので、参加させてあげても良いと思う。
 - ・過去に制限がなかった時代に、越境しての入部が問題となり、現在の取り決めが出来た。その時には、出場選手数に制限をもうけたため、子供たちが犠牲になった。今もし制限を戻した場合、その後にもまた越境問題が発生すれば、犠牲になるのは子供達である。
 - ・現在の取り決めがある中で、どうしてもそのチームに入部したいとの意向で、住所を変更して入部した例もある。どうしてもとなれば、そういうこともありえる。
 - ・指導者であれば、同地域のチームに入部する事を進めるのが筋ではないか。事実そういう勧めをした指導者もいる。
 - ・過去に問題があって解決策として今の取り決めがあるので、問題が起こらないように今の取り決めを守るべきだと思う。
- ・了解した。地方で伝えることとする。

2) 県大会での前年度優勝・準優勝チームの行進について、総務部より提案。

- ・部員減少の現状、行進するにもチームがない、県大会に出場していないので行進のためだけに遠くから来なくてはならない。という事態が発生しているため、前年度優勝・準優勝チームの行進をなくしてはどうか。
- ・今年の新人大会では、チームこそ出場できなかったが、子供たちは入場行進を大変喜んでいた。
- ・入場行進については現状のままとするが、チームが辞退した場合は代理行進までは行わないこととする。

3) 指導者の MRS 登録について

- ・本年も昨年通り、個人の自由とする。

4) そうめん・チャンポンの集金について

- ・各地方からの集金タイミングがバラバラで、チーム単独で持ってくる事態も発生しているため困惑しています。
- 今年度から、ソーメンは選手権大会で、チャンポンは新人大会で一括集金を行うので、必ず地方で取り纏めて持ってきて頂きたい。

5) ベンチ入りの指導者資格について

県大会・地方予選のベンチ入りの指導者資格は、昨年同様とする。

7) 総会（研修会）について

- ・ 昨年の理事会後に実施した総会を、本年も実施するかご意見をいただきたい。
- ・ 昨年実施したから今年も実施するではなく、目的を持って実施するのであれば良いことだと思う。
- ・ 県が実施する考えがあるのであれば、賛同する。
- ・ 昨年は一同に会し実施したが、南部と北部 2 か所での実施などの方法も検討したい。
実施時期を検討するにあたり、各地方の大会予定が決定すれば、総務まで連絡いただきたい。

以上